

1. 研究活動

音楽療育の試み -音と動き-	2012. 5	「日本保育学会」 第 65 回大会 東京家政大学	音楽療育の活動はプログラムを作成し進めている。集団での進め方と子ども独り一人への働きかけによって、一つ一つの活動が、変化していく様子を分析した。
音楽と環境 (3)	2013. 3	名古屋芸術大学紀要 第 34 卷	幼児期の音楽的な発達と、発達を促す音楽的な環境について述べた。そして、それらの環境の提示方法と音楽表現の楽器遊びの指導との関わりについて考察した。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 ■有 □無

f 教育内容・方法の工夫および作成した教材・資料等	g その他教育活動上特筆すべき事項
授業科目 ピアノ実習Ⅰ ◆前期 ◆後期 工夫の概要 「ピアノ実習Ⅰ」の授業において、大学に入学して始めて学習する学生の教材を用意する。特に左手の和音や分散和音での指使いの定着が、右手をスムーズに使うために必要と考えられる。また、子どもの歌を指使いの段階練習にする。そのための学習教材を作成し指導した。	
教材・資料等の概要 主要三和音 (C: G: F:) の音構成と指使い一覧表の作成。子どもの歌（例ちようちょう）の楽曲を片手・両手ユニゾン・和音伴奏・分散和音伴奏と段階的に楽譜教材を 5 曲作成した。	
授業科目 音楽 ◆前期 ◆後期 工夫の概要 「音楽」の授業において、音楽理論の授業内容の中で、学習した内容を表現する方法とした。①リズムと拍子②調性③総合的な領域で行った。	
教材・資料等の概要 ①リズムと拍子においては身体表現（ボディーパーカッション）に結びつける資料を作成した。②調性においては転調によって表現する資料を作成した。③総合では旋律と和音の楽譜を書き、オルゴールの台紙を作り表現する資料を作成した。	
授業科目 セミナールⅡ ◆前期 ◆後期 工夫の概要 今年度の授業では、イベントの企画運営として、演劇の上演をテーマとした。「白雪姫」をオープンキャンパスと保育園で上演した。脚本・衣装・舞台装置・効果音と役割分担で進め、全員での上演を行った。対象者によって、演出を工夫することも行った。	
教材・資料等の概要 「白雪姫」を上演するための、脚本・衣装・舞台装置・音楽・演出方法についての資料を作成した。	

3. 学会等および社会における主な活動

日本保育学会	現在	
日本音楽療法学会会員	現在	

<p>北名古屋市立母子通園施設ひまわり園 (療育保育)</p>	<p>2012. 4～2013. 3</p>	<p>ひまわり園で療育保育の一環として「音楽療育プログラム」を保育士と共に実施した。母子療育では、年間12回、子ども単独療育では年間2回行った。</p>
<p>清須市立保育士研修会講師</p>	<p>2012. 5. 21</p>	<p>「楽器遊びの楽しさを知る・楽器遊びの指導法について2」のテーマで行った。前年度の講習会の内容を踏まえ、子どもへの楽器・合奏指導について、楽曲の選び方、楽曲分析、指導方法等の内容で講演した。</p>
<p>北名古屋市立保育士全体研修会講師</p>	<p>2012. 6. 28</p>	<p>「音遊び」をテーマに、児童館の職員を対象として行った。小学生を対象にした、音遊び・音楽遊びについての説明を入れながらワークショップ形式で実施した。</p>
<p>春日井市子育て支援講座講師</p>	<p>2013. 2. 7</p>	<p>春日井市が実施する子育て支援事業で開催した講座で、未就園児の親子を対象に、「親子のリズム遊び」をテーマにした実践活動を行い、子育ての楽しみ方を紹介した。</p>